THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻第四十九號

大正五年十二月一日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□婦人の學問は無用の長物なるか……小橋三四子
□時事週評……
□文明の重荷を負ひ得る民族……永井潜
□一人一評‖田やす子……冬湖
□良妻賢母主義の悲劇……小庭しみぢ
□新らしいお婆さん宮田脩氏の母堂と語る……民子
□職業案内 タイピスト……西内青汀
□オハナシ「次郎お猿の失敗」……久野恭子
□嗅覺の魅力……薄田斬雲
□經濟な採暖器……河口愛子
□此頃の惣菜……櫻井ちか子
□小説「暗調」……高田てい子
□倹約物語「一擧兩得」……近藤浩
□貞女物語 顔世御前……廣田花崖
□時事……編輯室より……

定價一部四錢五厘郵送料五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

權威ある化粧料は

高貴御料

品位ある淑女を作る

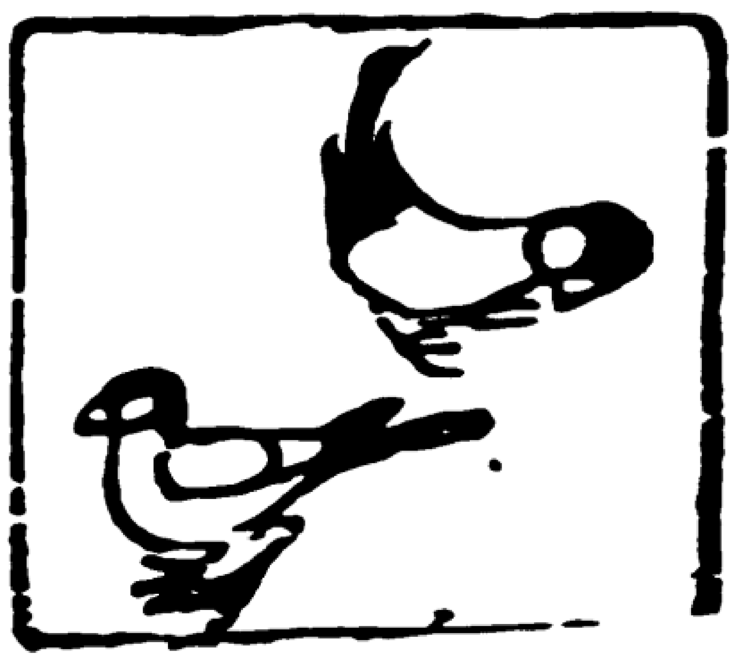
過酸化水素と他の美顔原料數種を化學的に化合させて作つた白美衛生の美容御化粧の素です。

使へば使ふ程、眞底から本當に色を白くし、キメを細やかに、素顔の艶を増しニキビを癒す美顔料

本舗

東京赤坂溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六
振替東京三四〇〇九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



婦人の學問は無用の長物か

□獨りよがりの說

數日前本社に原稿を携へた一人の男が突然尋ねて來ました。その原稿は婦人家庭に關する意見を述べたもので、未だ他人の着眼せぬ獨創的のものであるが、單行本として發行したいと思ふ。就ては女學校卒業生位の程度に果して合ふか否かを聞いて貰ひ度いと得々として其の原稿を讀み聞かせるのでした。其の所作が甚だしく常識を逸して居るにもせよ、傾聽に値する說あらばと思つて居りましたが、一二枚を讀んだ時、いかにも平凡な所謂男の要求計りであるのに呆れて「もう解りました。あなたの獨創と思つて居らるゝ處も、もう云ひ古して居る事計りです。苟も婦人問題や家庭問題を論じやうとするならば、せめて一二ケ月の各種の婦人雜誌丈けでも御覧になつたらよいでせう」と申すと「私は人の說なぞを見る事は嫌ひです」と云つて、數言の挨拶を殘して立ち去りました。

□學問の有難さ

この日私は國家醫學會大會に臨んで、數名の大家の講演を傍聽して居りました。別項記載の永井潜博士の「文化と人種衞生」といふ大演說を伺つて居る時等は、快刀亂麻を斷つやうに、明快にさま〴〵の疑問が解かれて行くのを、大變嬉しいことに感じ、學問の有難さを思ひ、幾分の僻をも讀者諸氏に傳へたいと、筆記をいそしんで居りました。閉會した頃は、夜に入つて、初冬の空に冷たく星が瞬いて居るのを仰ぎ乍ら、銀杏の並樹を赤門にと辿りつゝ、婦人も亦この門に自由に出入して、學問の蘊奥を樂しむ時代が早く來ればよいと希つて居りました。そして圖らず今朝原稿を携へ來た男を淺間しく感じた事を思ひ浮かべ乍らも、學問に久しく目を覆ふて居つた私共婦人の僻を、この男に見るやうに覺えて、氣耻しさに堪へなくなりました。

□無智なるが爲めに

私共は無智なるが爲め、今日學識ある人々の頭には、白晝の如く明瞭な問題をも、暗中摸索の姿を以て、或は煩悶し、或は不平を云つて居る事が多い。そして一步一步我が知識を高きに進めて行く事を、忘れ勝ちな爲めに、いつも徒に立ち止つて、前途遼遠の思ひをなして居ります。學問は婦人にとつては、なほ無用の長物視されて居り、女子の高等教育と云つても、多くは所謂良妻賢母の資格に必要なる應用的の學科を、稍深く修むるに過ぎずして、其の識見を高め、知識を養ふ根底には赴き難いのであります。

□男女の別の嚴しい教育

本誌別項掲載の良妻賢母主義の悲劇は、外國雜誌に現はれて居つた事ですが、日本の現在には尚ありさうな事實です。所謂良妻賢母なる者に、根本の修養なく、徒らに枝葉の形式に拘泥する爲めに、子女等は其の煩らはしい覊絆に堪へずして、不滿の念が何れへか破裂するに至り遂に母の丹精に反した不良の子女が出るに至るのであります。

私は常に考へて居ります。今日の教育は、餘り男女の區劃が嚴し過ぎる、この區劃が取り去られて、男子も女子も學問を共に樂しむやうにならなければ、益々男子は職業の奴隷となり、女子は所謂良妻賢母の型に箝つた者となつて、自由な人間の味ひを持つた人物は到底出來なからうと。女子教育起つて五十年の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日も、女はなほ人間としての光輝を發揮し得ないとの嘆聲を聞くのも、此の教育の缺陥によるのであらうと思はれます。

□後れた生涯

世の識者と稱へらるゝ人々の中にも、目前に產物なき學問に從ふのは、國家の損失である、僅かの人間を除いては、早く世の役に立てよと、人間を道具の如く心得て居る者が少くはありません。殊に隆々として國運の發展する亞米利加が、何事も實利主義なるを範として、貧乏な日本は、一層人間を働らかせなければならぬと申します。種々の社會組織が備つて、人々が働らき乍らも知識を磨がいて行ける米國にあつてさへ、此の儘に進んで居つたならば、或は貧弱な人間の思想が、周圍の物質的文華に壓倒されて、神經衰弱、精神病者の國となるかも知れませぬが、殊に我が日本の如きは、學校以外には殆ど進步の機關も少い處であります。學問に堪へる頭腦と境遇のある人丈でも出來る丈けの素養をつけて社會に出なければいつも周圍の文化に人が支配されて行く慘めな有様となりませう。既に社會に出た人々も、常に高い知識を愛して、これを求め進む心掛けがなくては、思想が早く枯渇して、五十歳ならずして、老い行く人が澤山に出來ませう。殊に婦人は、家庭に入ると共に、益々實用的となり、賢い人間の精神を失つて行き易いのであります。この境遇から、拔け出る工夫が一日も早くなくては、同じ月日の下に生き乍らも、幾世紀か後れた生涯を送らなければなりますまい。(三四子)

時事週評

□獨逸勇猛　志賀重昂氏は、文明協會の席上に語らるゝやう「獨逸が歐洲聯合軍を敵手として、侵略したる面積は、恰も我が日本全國の大さに等しく、聯合軍が獨逸を占領したる面積は、僅に我が四國と同様なり」とは、獨逸の勇猛、敵ながらも驚嘆に値ひする事であります。今日我が國は戰爭の餘澤として、實業界は稀有の景氣を示し、財界は急劇に膨脹し、所謂成金が續々發生して來ましたが、一時の變調に惑はされて、戰後の計畫を怠れば、恐るべき結果が來りはしないでせうか。富貴に居て淫せず、其の財力を快刀として縱横に用ひ得る人材の養成が早く心掛けたいものであります。殊に今後の女子は、座敷の裝飾、社交の用具から離れて、實質ある人間にならなければなりませぬ。

□ジヤツクロンドン氏逝く　米國の文豪ロンドン氏が來春早々夫人同伴、本邦に來遊せらるべしとの報道が傳はる間もなく、自殺の悲報に接したるは、一層痛恨に堪へぬ事であります。氏の著「アダム以前」を讀んで、原人の生活を捉へ來りて、文明生活に沒る人間に、さまざまの暗示を與へて居る其の着想の奇拔にして、科學的研究に深く根底を置ける點た、尊敬致して居り、其の風丰に接する日を樂しんで居りましたのに、誠に惜しい事であります。

□女中難　經濟界の膨脹につれ、各種の事業勃興したる爲めか、或は工場法案等が設けられて、工場が働らき易くなつた爲めか、從來田舍から年々二十萬もさまよひ出て來て職口を求めたといふ娘達も、昨今は殆ど姿さへ見ることが稀れになり、各家庭では頻りに女中難を訴へて居ります。人間が自由を喜ぶやうになつて來た今日は、到底今迄の女中制度では、滿足されなくなりませうから、もつと時間正しく使ひ、且つ主婦が多少教育してやる心掛けになつて、女中の人格を認めてやるやうにする事は大切ですが、また地方に於ても、若い娘達を工場に通はせて荒ませて終うより、將來家庭に入れる準備として、女中奉公を獎勵するやうにしたいものです。これは地方の心ある婦人方が、周圍に說き傳へて下すつたら、きつと好果がありませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文明の重荷を負ひ得る民族

文化と共に考ふべき問題

醫學博士　永井潛

口榮枯盛衰窮りなき世

人に百歳の壽を保ち、國に千載の歴史を有するは、極めて稀れであるといふ。美はしく咲ける花が、嵐をも待たで瞬く間に散り行く如く、榮枯盛衰窮りなき世の相は、多感の詩人ならぬ者をも、亦泣かしむるのである。或る有名な社會學者は「この社會は生物と同じ運命を持つて居る」と申されたが、一國の運命も亦しかく思はるゝ。何故文化が進めば、やがて一國は亡ぶべき運命に陷るか、文化と共に何故國家は永遠に發展し能はざるか、これは大に研究すべき點であつて、もし其の病源を未發に根治し能ふ事が出來たならば、眞に國家、人類の福祉と云はねばならぬ。

口文明と人間の心身

元來人類の進化に就ては二方面がある。一つは祖先傳來の大切なる贈物を富まして社會に殘す所謂傳說的文化なるものと、一つは人間自身の心身の進歩向上、換言すれば生物的進歩とである。世の文化と人の生物的進歩とは如何なる關係を持てるか。或時は並行して居るやうにも見えるが、また必ずしも並行しないやうにも見える、否時によつては此の兩者は互に相反し、相食むが如く見える。若し國にこの兩者相備はれば、國民は優者の位置に立つを得るであらうが、一朝傳說的文化に富んで、生物的進歩の之れに及ばぬ時は、多くは一國は滅亡の悲運に陷らざるを得ない。かの希臘、羅馬の燦爛たる文華は、野蠻なムーア人によつて滅ぼされた。金鞍白馬の平家の公達は、牛車にさへ乘る事が出來なかつた東夷等に征服さるるに至つた。之れに反して生物的進歩のみあつて、傳說的進化の一向にない時は、今日の黑人の如く、亞米利加印度人の如く、未開の民に止らなければならない。傳說的文化と生物的進歩とは眞に車の兩輪の如く、鳥の兩翼の如く、兩々相須たなければ、到底國家の繁榮を見る事は出來ない。

口生物進化の傾向

生物進化を永遠に維持するには、何が最も大切なるか、生物學者等は、ダーウヰンの進化論によつて代表された如く、自然淘汰にありとして居つたが、最近の生物學者の知識は、之れにも一つ大切なるものを加ふるに至つた。從來の淘汰作用は現にあるものを撰ぶが新らしい立派なものを作る事は出來ない。そこで善良な種子を撰んで、其の資性を改善するといふ優種の問題が起るに至つた。扨この善良な種子を殖やす事と現代の文化とは、果して並行して居るかどうか、この點に就て、二三必要な問題に觸れて見たいと思ふ。

口戰爭と莫大なる犧牲

この二三年間、我々の生活上最も大なる刺戟を與へられて居るのは、云ふ迄もなく歐洲の大戰亂である。この戰爭はどれ丈けの價値を生物進化上に及ぼして居るであらうか。戰爭は淘汰作用と緣が近く、昔の哲學者等は戰爭に重大な意義を持たせ、希臘のヘラクリースは「戰爭は凡てを生む母なり」と申した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

平和論者、穩健主義者なるカントさへも「人間は平和を鼓吹するが、自然は人間よりも敏くして戰爭を起す」と云つて居る。我々は戰爭によつて人間が如何に偉大なる精力を發揮するかを見て、驚異の眼を瞠らざるを得ない。そしてカントが云へる如く、戰爭は或る意味からは、有力なる淘汰作用には違ひない。然し文明國の戰爭は、かの一騎打ち時代と異り、民族と民族の戰ひで、個人は全く忘られ、精巧なる機械の下に、强者も弱者と同じく犧牲にされるのであるから、生物進化上には、實に恐るべき事である。殊に軍國主義の全國皆兵の制度にあつては、從軍の士は何れも國民中心の核ともいふべき優良なる壯丁である。もしこれ等尊き犧牲が死せずして、結婚したとすれば、一千萬人は二代目には二千萬人、五代目には一億人の優種が殖える筈である。加ふるにこれ等最も大切なる心身を血稅とし國家に捧ぐる爲めに、一面莫大の經濟上の損失を蒙つて居るのである。今日聯合軍が一日に費す金は、約一億圓以上に達して居るといふ事は、之亦驚くべき犧牲と云はねばならぬ。

□戰に殘つた民族の子孫

國民の中堅たる壯丁が徵兵として取られる時に、生物學上には劣等で、經濟上割合に富裕な地位にある餘の人々等は、益々子孫を繁殖さして行く。今日我が國の徵兵に出づる人が一とすれば、出ない人が一、〇三であるので、二十三代半を經た時には、惡種は善種の二倍となる譯である。この位生物學上の立場から、淘汰に反對して居る事はない。も一つには軍隊と花柳病との關係である。英の應募兵に於て、十萬人に就て三十二人の花柳病患者が入營後には十萬人に就て千人となるといふ。かくして英國の人種學者クラーク氏は「軍隊は最も恐るべき花柳病の培養器である」とさへ云つて居る。斯くの如く觀來れば、我々は人道を離れても、平和論者に組せざるを得ないのである。

□人種の數と質

次に人口問題に於ては、數と質との二方面がある。然るに文明が進めば、民族の繁殖率は減じ、就中善良な種子は殖えないで、惡種が非常な勢で增加して行く事は、民族衞生上から恐るべき事實である。これは抑も如何なる理由であるかと云へば、世が文明となれば、人間は贅澤となり、過勞し、またアルコールを餘計に用ひ、花柳病が殖えて、人間の生殖機關、細胞等を害ふ事が多いと同時に、人爲的に避姙法を行つたり、受姙を嫌ふやうになり、その上に婦人が餘儀なく勞働をするやうになる等の事情が、人種を害ふに至るのである。

□優種の少くなる所以

文化と共によい種が何故少くなるかといふに、知識階級の人々は、生活に思慮を回らす餘り

四

能力を發揮し、一角の仕事をせんとするので、勢ひ晩婚に傾き、最も繁殖力の旺んなる時代を過ぎて結婚するから、自然子供の數が少くなるのである。また世が文明になると共に、產兒の數を制限せんとして避姙法を行ふが、この避姙は數を減ずるのみならず、民族の種を害ふ事になる。英の有名な生物學者ピヤソン氏は、子供は初めから三番目位迄は、價値が少いと云つて、結核、精神病等が、初めの子程冒され易いといふ統計を示して居るが、避姙する時は、終りの子に多く施すので、自然優種が搾り取られ、惡種が殖える事になる。なほ社會關係が複雜になるにつれ、母が授乳する事が少くなる。授乳は子供が健康になるのみならず、後の子供を健全にする。即ち授乳をして居る時は、引續いて子供を持つ事は稀れで、從つて母胎の充分の回復を促し、次の子供は强健になるのである。なほ生存競爭の劇し

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くなるにつれて、婦人も亦職業に携らなければならぬので、生産力を奪ふ事になるのは否むべからざる事實である。最後に殘つたのは壽命の問題である。文明が進むと共に死亡率が減ずるのは、喜ばしいことではあるが、死は自然が人に下したる大切なる賜物で、舊いものが退いて新らしい者に餘地を與へるによつて、世は常に元氣を回復して行く事が出來るのである。然るに老年者の死亡率が減ずると共に壯年者の死亡率が高まる。之れは醫術の進歩によつて、幼少時代に死すべき運命の者が、暫らく存らへて、早世するからで、之れによつて、また弱い子孫を殘す機會を多くする事になる。

□優種の繁殖

然らば我々はどうして此の好ましからざる影響から逃れる事が出來るか。人間は智慧を得て自然に反抗し、自然を支配して文明を作り、其の作つた文明の重荷に堪へ難ねて苦しんで居るのである。かの舊約にあるアダムとエバが智慧の木の實を食つて人間に墮落し、此處に男女共初めて苦痛を味ふに至つた如く人間の文明は、人間の智慧が作つた苦痛である。然し智慧によつて自然に反抗し、之れを征服して行く處に、人の偉さもあるのである。かくして文化は日に日に進み、今日の小學生等は、實際アリストテレスよりも賢いのであるが、同時に文化の壓迫は、日に月に人間に加はつて來る。さればと云つて今日のこの文明を捨て、自然に歸るといふ事は、成人した人に再び母の胎内に歸れと云ふと同一である。只文明の重荷に堪へ得る民族を作つてのみ、この問題は解決し得るのである。此に於てか優種を世に植ゑ、優秀なる民族をして益々繁殖せしめる時に、世の盛衰を外に、國家の隆運は、永遠に變りなきを得るであらうと信ずる。（國家醫學會大會に於ける講演「文化と人種衞生」の大要）

（一人一評）

田やす子

冬湖生

△大臣邸の生活—女性で無くも羨しい。唯だ一度で好いから『あの大臣官舍に住居したい』とはC夫人の虛榮とのみ考へられぬ。良人が内閣に入れば、大臣夫人となつて官邸生活に移る——聞いた丈けで身顫ひが致しますよと年若い政治家C氏夫人は田やす子が私邸を引拂つた日に沁々と語つた。

△男爵田健次郎氏夫人やす子は良人の田男爵が遞相の椅子に就かれると共にその令息及び令孫を伴ふて官邸に移つた。多摩川畔に閑居してをつた田男爵一家が官邸に入つたのは決して不思議でない。が、別に生活なしてたる令息達の家族を伴はれたのは少からずC夫人を羨望せしめたらしい、併し聰明の田夫人は、その令息達に稀有の大臣官邸の生活を味はしむべく引越したのではなく、美しい目的は他にあつたのである。

△田男爵の閱歷は、立派な立志傳である。が、又男爵は父親としても、非常に完全な紳士である。その令息達の聰明にして叡智なるは、父親の血を享繼いだものと思はれる。併し父親のみの手に依つて、決して子供は立派になるものではない。かの立派な父親として田男爵の右手にやす子と云ふ聰明の母ありしが爲に、田男爵の子供は立派に人と爲つたのである。

△廣い自由な官邸に——祖父樣と父樣と祖母樣と母樣と睦じく圓滿に不偏愛と同情との裡に、その孫達を育てたいと云ふやす子夫人の聰い希望は、軈て令息や令孫達を伴ふて官邸にも引移つた。その床しい夫人の心意氣が慕しいものである。

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

良妻賢母主義が

生んだ悲劇

小庭もみぢ

一

余りに凝り固つて、窮屈な生活をすると、自らを破壞する虞れがあり、又は己が子女の教育を誤つて悲慘な破滅を招く事があります。殊に學問見識のない婦人が、一朝夫に死別れ、繊手に一家を脊負つて立ち、未だ若い身を貞節の未亡人として數人の子女を仕立て上げやうとの健氣な心から、大勇斷を以て孤城重圍の覺悟を定むる樣な境遇には、兎もすると、此の極度な窮屈が附き纒ひ、爲めに九仭の功を一簣に缺くといふ悲劇を生ずる事があります。

二

私は此の事を事實に依つて說明して見ませう。或る上流家庭の主人が數人の幼ない子女を殘して逝きました、未亡人は終生の貞節を覺悟し、どうにか支えて行かれる丈けの家產を賴りに今は專心子女等の成人を待つ身となつたのです。

處で、此の婦人には堅い強い意志は有つたけれども、多く世の中を知らず、又事物の眞相に徹する智見を有せず、學問に依つて得た處世の見識といふものもありません。で、其の敎育法は唯だ頑固に凝り固つた窮屈一方のものとなりました。婦人自らは、其の境遇の必要から斷乎として此の偏窟主義を勵行し、浪費を省く事に苦心し、一糸亂れぬ孤城苦守主義を遂行したのですが、子女等は然うは行きません。父親のない子は、然らでも物淋しく賴りなく、悲觀して偏窟な人間に成る傾向のある處へ、此の母親の敎育法は、一分のゆとりもないものであつたから、子供等は何の慰藉も得られず、唯だ詰らないと思ひ込む樣になりました。

三

三日に一度は御馳走をするなり、面白く遊ばせるなりしても巧みにやりさへすれば大した費用もかゝらずに濟む處を、此の婦人は其の費用をも惜み、息子の爲めに制服を新調せず、帽子を新調せず、進んで高等の學校に入るに及んでも、小遣錢十錢と蟇口に入つて居た事がなかつたといふのです。そこで此の息子さんは大變卑しい、さもしい人間になつた。女の子は、始終母の下に居て、多く世間を見ないから、他と比較して慾を起す事も少なかつたらうが、男の子は家に居る事は少なく他家の內情を餘計に知つたから、堪へ切れぬ慾に迫られて遂に友人の書籍や洋傘などを借りたまゝ返さぬ樣な事になつて了ひました。爲めに、注意人物扱ひにされ、之が爲めに一家の汚名を蒙り、母親が二十年餘り丹精した甲斐もない事になつて了つたのです

六

四

之は最近の或る外國の雜誌に載せられた事實です。併し他人の事とは思へません、今に我が國にも續々こんな例が現はれそうに思へます。此婦人は夫が存命して居さへすれば、模範的良妻賢母であるべきを、夫に死別れた爲めに、舊式の良妻賢母の缺點が盡く暴露して大悲劇を演じたのです。意志の強固は必要であるが、智見のない意志は、自らを破壞するに終るのです。獨立するには、獨立した見識を養成しなくてはなりません。從來の良妻賢母主義の個條には、人生哲學、處世哲學を除外して居ました、今後の良妻賢母主義には、料理、作法、琴、茶の湯よりも、先づ人生哲學と處世哲學を必要とするのです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新らしいお婆あさん

宮田脩氏の母堂ご語る
大杉事件の批評も出る

□不運な役回りをされた

『いゝえ、唯、そのなすつた事の善惡にかゝはらず、一夜〲寒くなりまさるにつけ、冷たい獄屋でさぞお寒いことだらうと思つた際りにお送りしたのでございました。別にその他には大して……。』と成女高等女學校の校長宮田脩氏の母堂松子刀自は靜かに口を開かれました。夫れは神近市子さんが、互に心から共鳴し合つて生み出したその生命とも思はれる主義を、戀人大杉氏に裏切られたのを知られた刹那に波の音のしと〲と枕に響く葉山の日蔭の茶屋で白刃を振はれたあの悲痛な事件から、冷たい獄屋の人となられると、多くの人がまだ周圍の人の思惑を省みてゐる間に、一人刀自は其樣なことに頓着なく、温かい長胴着を差入れて、狹い、冷たい部屋に呻吟する人の心を慰めなすつたその時の思ひ出でございます。『私は神近さんに會つた事があるかも知りませんけれど如何な方であつたか少しも記憶いたしません。何は兎もあれ、痛ましい、不運な役をつとめられたお氣の毒な方ですのね、まだお若いから、あゝした態度にお出なさるのも餘義ないことだつたかも知れませんけれど、なる事ならもう少し外に途がありさうにも思はれますけれど……がもう過去のことは致し方はない。』と言つて、寂しく口をお閉ぢになりました。

□老刀自の讀書慾

刀自は見た所五十路を六つ七つ越えたばかりの方かと思はれる若さでありますが、今や六十五の春を迎へやうとなすつてゐると言ひます。けれど世の所謂かたくなゝ老人氣質と言ふものは微塵もない。心の中は何時も若々しく知識慾に燃えてゐて、退屈と言ふ事の經驗がおありなさらないさうでございます。『私はもう良人には死別れて了つたし、伜には嫁を貰つたので一切のことをすつかり嫁に任かせたから、世間に對する義務と言ふやうなものは失せて、寢やうと起きやうと勝手な體となつた。人間の一生の間で、之れほど呑氣な時機はあり得ないだらう。この間にこそ、今迄望んで得られなかつたことを遠慮なくどし〲するに限る。』と仰有つて、讀書好きな刀自は文學、科學、哲學とあらゆるものを興味を持つて讀み更つてゐらつしやいます。そして、

『横文字が讀めたらどんなに面白いだらうと思ふが、近頃は大抵のものが飜譯されてゐると言ふから我慢してゐます。よく若い者がお婆さんのやうな年の人で、現代の新進作家の作物などがどうして理解されるだらう、と言つて、私がストリンドベルヒやチエホフなどの小説を面白がつて讀むのを見て批評してゐますけれど、鎧や冑を着ない眞實の人間となつて省みる時は、如何に私が老人でも夫れ程理解に苦しみません。世の中には論語や大學一點張りでは通らないことが澤山あるやうに思はれます。排斥すべきもの、中にも捨て難いものがあつたり、つまらないと思ふもの、中にも思はぬ尊いものが潜んでゐたり致しましてね。だから小説などを讀んでゐると、作中の人物の心の動きかたなどが面白く思はれます。』と仰有つてゐます。刀自は周圍の人から得られる本以外に自ら夜店へいつて古本を漁られるこ

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ともある。著者を調めることなくして形の變つたものを求めて歸へられた夜など、
『あらお祖母さま、之れはあの××と同じ本ですのに……。』などゝ言つて一家の笑ひを招かれることもあるさうです。

□アンナの戀

過般帝劇でアンナ・カレニナの芝居がありました時、まづその作者の心を知らねばと、千三百頁にあまる大部の本を讀破してそして觀劇なすつたのも刀自でした。アンナの戀に對する御感想をお訊ねすると、
『私はあの芝居を見てゐる間はアンナのしたやうな彼樣な戀は到底あり得るものではないと思ひましたが、近頃よく考へて見るとさうでもないやうにも思はれて來ました。矢張りあゝなる人もあるのが眞實のやうに思はれます』と仰有るのでした。それは神近さんの眞意に異なる所はありますが神近さんの戀の批評をお願ひすると、さあ、と言つて暫く目をお閉ぢになつてゐましたが、やがて靜かに次ぎのやうにお話し下さるのでした。

□神近さんは若かつた

『何もかも因縁だつたんだらうと私は思ひます。神近さんと大杉さんとの戀、野枝さんと大杉さんとの戀、また大杉さんと又杉さんの前の奥樣との間柄、又三人の女の方々同志の間柄、どの方をどうと取り上げて言ふことのならない程、みんな氣の毒な方々です。そしてあの縺れ合つた四人の方々も、誰一人故意にあゝした錯雜した關係にしやうと豫期してなすつた事ではないだらうと思ひます。唯定められてゐる目に見えぬ因縁の綱が自らあゝした所に四人を引き上げて行つたのでせう。因縁と言ふものはあると見えて、陶宮術を研究した人は人の生年月日と人相とを照らし合はせて的にさせるさうですから。あの四人の戀は遁れることのならない運命だつたのでありませう。唯一番するい態度をとつてゐるのは大杉さんでせう。神近さんは餘り眞正直で、生眞面目で、しかも若かすぎる所があつたので、一番損な位置に立つた氣の毒な人です。もう少し心が年をとると遠くへ放れ去るんでせうけれど……。夫れは堪へがたく苦しいことだらうと思ひますが、其處まで行けば、みんなをあの人は哀れみ得る心になるんだけれど……。まだ若いから致し方はない。』
とかう言ひ終られた刀自は、世の中のすべての物をすべての事を知り盡し、悟り切つた古の高僧もかくやと思はれるやうな嚴かな面影がそのお顏に浮んでゐました。

□洋行代りに活動寫眞を

刀自は舊幕時代に德川直參の旗下の家に生れた方であります今の四ッ谷御所の前の廣原の横にはその屋敷跡の名殘りを止めた老木がある筈だとか。遊藝が嫌ひで、親の眼を忍んで讀書なすつてゐたさうです。後には夜寢るにも枕元に本がないと寂しい程になり、遂に、
『おや、今夜は體でも惡いのかしら、枕元に本がないよ。』と家人に案じられるやうに迄なつたと申します。近頃は讀書をなさらない時は活動寫眞を見て、西洋の文物を洋行する代りだと思つて御覽になつてゐますとか、
『私がお伺ひしたその日も、今日も之れから出掛けやうと思つて』と仰有つてゐました。廣いお庭には眞赤に色づいた紅葉が風にゆられて趣き深く人の心をそゝてゐました。

噂

▲目賀田男爵夫人は諸方から送られる雜誌の帶封を丁寧に開いて、お部屋に重ねて置かれる。今に澤山溜つたら本社に送つて驚かして下さるさうなので、同人はいつかいつかと待つて居ります。▲神近さんが親友宮島氏の訪問を根岸監獄に受けた時「大杉さんが死んで居つたら私も死ななければならない」と眞つ先きに云つて、さめざめと泣かれたさうです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日になる迄

若き婦人の職業案内(四)

タイピストになる資格

東京タイピスト養成所長 西内省吾

□はき〳〵した人

タイプライターを久しく打つて居ると、健康を損じはせぬかと云はれる人がありますが、根が健康の人でしたらば決してそんな事は無いと思ひます。然し多少神經質になるのは事實です初めて入學した時と、一年後とは何んな人でも別人のやうになります。一體タイピストには、從來の所謂日本的の婦人では進歩が遲くて仕方がありません。少しきび〳〵した頭の働く人がいゝのです。と、申しましても、餘り口數の多い人は、知らず識らずの間に、取引き上の秘密を口走らないとも限りませんから、注意の細かい人でなければならないのです。

□語學の素養と正比例す

現在私は高女卒業以上の人に敎へて居りますから、年は十八九から三十歳以上の方も參りますが、婦人は三十五歳過ぎますと、記憶力が非常に減退致しますので、特種の人を除いては成功すると云ふ事は困難のやうに思はれます。けれども若いうちに習つて置けば、五十五六迄は打てると思ひます。その他英語の素養の多少と打つ早さとは殆ど正比例して行くやうに思はれます。殊にタイピストとして立つべき語學としては、商業に關する英語の素養が必要です。印刷物を見るのと異つて、原稿の字は中々判り難いものですが、それを讀んで文法上の誤り又誤字等をも正さなければならぬので、或る程度迄は文章を讀み得る人である事は勿論、作り得る人でなければ思はしく進めません。

□習得の時日

米國の競技會で第一流に推された人々は、一分間に八行乃至十行を書いて居ります。先年等は一秒に十八打つて世界一と稱されて居る人もありますが、日本では最も早い人でも、一分に六十語以上は無かつたやうです。外國の一流に比して十語ばかり少ないのですが、國語で無いのですから餘義ない事と思はれます。そこで普通の日本人の早さは、一分間に先づ三十五語を程度として、これより遲いものは手練に於いて普以下のものと申さねばなりますまいと思ひます。打つ事だけを稽古するのでしたらば、三四ケ月でペンで書く位ゐの早さに迄はなりますが規定は六ケ月となつて居ります。月謝は貳圓五十錢。

□就職後の收入

タイピストの月俸は現在一二の會社では十三圓から使つて居りますが、普通は十五圓が最低額で外國人の商館では二十圓から廿五圓で雇ひ入れて居りますが、最高は三百圓と云ふのがありますが、これは秘書役のやうな事迄して居るので一般の比例にはなりません。タイプライターだけでは、日本の會社の六十五圓、外人商館の百三十圓が、目下の處では第一のやうに思はれます。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

次郎お猿の失敗

恭子

太郎お猿と次郎お猿と三郎お猿の三匹のお猿の兄弟がありました。毎日連れ立つてお山の上の學校へ行くのです。今朝も、お母さんお猿は一番先きに起きて、御飯を用意して、太陽がニコ〳〵したお顏を見せる頃に成つてから、子猿を起しました。

「さあお前達もう起きる時間が來ましたよ。」とさう言はれて、太郎お猿と三郎お猿は直にハイッと飛び起きましたが次郎お猿丈は未だ眠いからもう少しと思つて寢て居ました。太郎と三郎はちやんと支度をしても次郎は中々起きて來ませんから、太郎お猿は起しに行きました。

「オイ次郎起きないか。學校が遲れるよ」と言ひましたが、次郎は眠いと見えて「今起きるよ」と言つたなり、あとは何だかムニャ〳〵言つて、ちつとも起きません。太郎と三郎は學校に遲れては不可ないと思ひましたから、先きに御飯を喰べて出掛けました。而して、道々紅葉やなんぞ木の葉が紅く染つて居るのを眺め乍ら、仲よく歩るいて行きました。

やがて、次郎お猿は目を擦り〳〵起きて來て、時計を見ますと、さあ大變、學校の始まる時間にはもう十分しか有りません。「ヤア此奴は失敗した」と言ひ乍らあはて丶顏を洗つて御飯をかきこんで、本の鞄を大急ぎで取上げて、手巾も持たずに飛び出しました。お母さんお猿に行つて參りますも言はなかつたのでした。學校へ來て見るともう始つて居ます。次郎お猿はきまり惡るさうに獅子の先生の前にお辭儀をして、自分の机に參りますと、並んで居る熊の子が「ヤア可笑しいな、次郎ちやんお猿は鼻を出してらア。」と言ひましたので、赤いお顏を尚眞赤にさせ乍らポケットに手を入れて手巾を探しましたが有りません。大困りに困つて居ますと、此方隣りの山羊の子が見兼ねて「君上げやう」と言つて紙を呉れました。そこで次郎お猿はやつと助かつて椅子に腰掛けました。すると先生の獅子は大きな鼻眼鏡を掛けて方々見廻して居ましたが、

「今朝御家を出る時に、お母さんに行つて參りますと御挨拶をして來た方は手を上げて御覧なさい。」と言ひました。すると、熊の子も手を上げる、兎も手を上げる、山羊も羊も手を上げました。一番前の机に座つて居た太郎お猿も、向ふの隅つこに居た三郎お猿も手を上げましたがたつた一匹手の上らない子が居ました。誰れでせう。今朝寢坊をしてあはて丶御家を出て來た次郎お猿です。

獅子の先生は次郎お猿の方を向いて「次郎さん御家を出る時にはちやんと行つて參りますと言はなければ成りません」と言ひました。そしてお帳面を出して皆のお名前の下にはお丸を附けましたが、次郎お猿の名前の下には三角を附けました。次郎お猿は先刻から種々恥しい事計り續いたので赤いお顏を一層火のやうに赤くさせて下を向いて居ましたが、心の中で、明日から寢坊をよして、お母さんに起こされた時に直ぐ起きてちやんとお支度をして學校へ來やうと思ひました。（終り）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嗅覺の魅力

文野の別も嗅ひから

薄田斬雲

口嗅覺は心機を轉換す

心機一轉と言ふ事があります。何が原因と言ふ事なしに、ふつと氣が變る事があるものです。此の不思議な氣持になるのは嗅覺が其の因を爲す事が多いのです。一寸考へると、嗅覺は、佳香と臭氣との差丈けに止まる樣ですが、其實直接人間の精神に作用する事、嗅覺の魅力が大なるものです。

口味覺と嗅覺

先づ味覺の上に考へて見ても味覺は單に味覺丈けで意味を爲さず、嗅覺が伴ふて始めて本當の味といふものになるのです、物の味の差異特色は凡て其の臭ひから來るのです。甘味酸味苦味澁味辛味などゝ數へ立てますが、此の五味は味の科學的基礎になるにしても、其味が眞に生きて來る爲めには其物に附屬した特有のかをり、にほひと言ふものが鼻で感せられるのです、うまそうな臭ひがするといふではありませんか、食物の好き嫌いも凡て其の臭が嫌ひで食へぬといふのです。臭の無いものと言つたら蒸溜水位のものでせう蒸溜水は水道の水よりも況んや井戸の水よりもズツとまづいものです。

口耶蘇の靈香

臭の中で一番魅力のある人の心を根底から動かすものは人臭いといふ事です。耶蘇は身體から芳香を放つたと言ひます、人間は心神共に純潔高雅になると一種の靈香を發するものだといふ說があります、是は確かに信じらるべき事です。處が一方には邪淫の臭といふものがあります、どんな芳香佳香も强度に用ゐると邪惡な忌はしいものになります、香水を余りに多く浴びるのは邪淫の姿です。却て其心術が卑しいものに思はれて他の尊敬心を薄くします。薄化粧と適當の香水は、女の身たしなみの極意です。

口野蠻人は惡臭を好む

臭には淸い高雅なものと俗なあくどいものとあります、裏長屋の臭いはむつとします、同時に其の路次を出入する人間の相貌もいやらしいものです、支那人朝鮮人は大蒜臭いと言ひますが、あれは單に大蒜臭いばかりではありません、不潔が附纒ふ掃溜の臭ひです。中華國の大人は袖で鼻汁を拭くのが常習です以て一斑を知るに足るのです。

口嗅覺敎育を起せ

近時外國では、其國の臭ひが以て其の文明と野蠻をトするに足ると言つて居ます。佛人は獨逸の臭氣を數へて其のキヤベツ料理の臭ひが下水道の臭氣の樣だと罵つて居ます、其の言ひ草を讀むと、丁度我々が朝鮮支那人の異臭を罵ると同じものです其家の玄關に訪ふた時、感ずる臭は其家人の品性の臭ひであるといふのです。町を通る時、感ずる臭ひは其市町の文野の標準なのです。

魔醉藥といふのは嗅覺の强度な刺戟によつて神經を痲痺させるのです。人間は其の身から發する靈香を以て對手を壓倒し痺痲させる必要がありませう、風上に置けぬとか、鼻持がならぬとかいふことはありませんが、嗅覺の哲理を研究したなら心理作用の上に大いに發明する處がありそうです。邪念を銷すべく、惡心を制すべく淫情を冷却すべく、同時に向上心を發揚せしむべく、心靈を澄明ならしむべく、茲に嗅覺敎育といふ一課目が成立つ事と思ひます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

温暖をとるには

何が經濟でせう

炭の撰び方

家事實習研究會主 河口愛子

□各種の採暖器

一と口に採暖器と申しましても、火鉢、ストーブ、閉爐、開爐、蒸氣、懷爐、行火、切り炬燵等種々ありますが、これ等のものを衛生上から比較して見ますと蒸氣、湯たんぽ、閉爐ストーブ其の他炭火を用ふる凡てのものと云ふ順になつて、室内を暖むるものとしては、蒸氣に越すものはなく、次には閉爐ですが、共にこれ等を設置するには、家の構造から替へなければなりません故に、一般の家庭でこれを使用する事は困難です。

□冬の客間の用意

以上の二つを除いては、瓦斯ストーブ又は從來ありきたりの座敷ストーブが、經濟上にも衛生上にも、第二位に相當して居りますが、然し今迄の習慣上お座敷に通された時に、隅にストーブが焚かれてあつても、手焙りの火鉢が置れてないと、何となくもの足りない樣の感じが致しますから、矢張り普通の日本座敷でしたらば火鉢を置くのがいゝと思ひます。少し客來の多い家庭でしたらば、お掃除を濟ませた後で、毎朝火鉢に火を探つて、炭が赤く起る迄室外に置けば有害の瓦斯の發散も無い譯けでありますから、それを熾つた處で全然灰で蔽つて、座敷に入れて、障子を閉てゝ置きますと、何時來客がありましても座敷が暖つて居て、お客樣に寒い思をさせなくても濟みます。それで無いと、假令瓦斯ストーブの備へがあつたにしても、お客樣の顔を見て、火を付けるのでは、室内が直ぐ暖くなると云ふ譯に參りませんから、早歸りのお客樣等では、歸る迄に室が暖らないと云ふやうな事が少なくはありません。此の點から考へても、又經濟の方面から見ても、一日に座敷火鉢ならば、櫻炭の大き目に切つたのが三つ位ゐで充分あるのですから、火鉢を用ふるのが、實用には最も適して居ると思はれます。

□炭の種類と灰

火の保ちをよくするには、燃料を擇ぶ必要があります。その炭の種類も澤山ありますが、座敷用の埋火に致すには、櫻炭、池田炭、鞍馬炭に及ぶものはありません。これに堅炭を二つ三つ混せて置いたら、夜分迄も火が保つて居ります。其の他土竈松炭、消炭等は、熾りが早いと云ふだけで、保ちがよくありませんから、茶の間及び臺所で堅炭と共に用ふるとか、石炭や、コークスを起すのには、よろし

十二

家庭お化粧(14)

▼神聖な家庭の象徴▲

▼現代要求の化粧法▲

＝理想的の洗身料＝

＝洗身料と美身料＝

されば洗身料としての理想はいかなる作用と効力とを有するものであるかといへば、化學的に皮膚の表面にある汚垢を殘りなく吸收し包容して、それを輕く擦つて物理的作用を施せば、それで汚垢はよく落ち、而して皮膚を害しないもの、更に進んでは皮膚を損じないやうに汚垢を落すといふばかりでなく、洗つた後の皮膚の營養を增して、美しい皮膚を作るといふものでなければなりません、此の理想を遺憾なく實現せしむる洗身料としては、クラブ洗粉の外には他のいかなるものを以てするも認め得らるゝものはないのであります。

汚垢を落すに石鹼はあります併し皮膚の角質を腐蝕せしむる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うございます。然しどんな炭でも、縦て、つかはなければ燃え方が早うございます。次に火を長く保たせるには灰に注意する必要があります。塊つた灰は火のたち方を非常に早めますから必らず毎朝灰は振つて、軟かくして置かなければなりません。それに石灰を混ぜて置くと容易に火が立ちません。客間用や、茶室等には風情を添へる爲めに實用にはなりませんが霰灰を混ぜて置くのも一寸興があります、臺所用の火鉢等でしたらば、藁灰を用ふるのが最も經濟です、これならば、普通の灰の二倍は確かに火が保つて、暖かさも强うございます。又、紙で蔽ひを造つて火鉢の上にかけて置くのも、亦火を保たせる一つの方法です。

□炬燵としては

炬燵の類では、行火が最も安全でいゝと思ひます。行火にしても炬燵にしても、たどんを用ふるより、粉炭を澤山入れて、堅炭のよく起きたのを二つばかり入れて、粉炭に火が移りましたらば、すつかり埋けて置くのです。たどんを用ひる時は、半分起して埋けて置きます。寢室用に行火を用ひる方がありますが、危險がありますから、湯たんぽが最上です。けれども手數がかゝる處から用ひる人が少ないやうです、次に懷爐です、炭の二端に火をつける人がありますが、結んだ方へ一方だけ火を付けて、床の中に入れて置きますと、丁度溫度がいゝ鹽梅です。凡て採暖の方法は燃料の性質を知つて、適宜に要途に用ひて參りますと、可成り使ふやうでも經濟にやつて行かれます。

此頃の惣菜

櫻井ちか子

□**大根葉の油煎** 大根葉のいゝのを丸のまゝ茹で、細かに刻み、一寸搾つて水氣を除り、胡麻の油で炒つて、其の中へ細かに切つた油揚を入れ、醤油、砂糖で味をつけます。

□**馬鈴薯と葱のスープ** 馬鈴薯は皮を剝いて細かに切り、葱も小さく切つて一所に鍋に入れ、其れを蔽ふ位ゐの水を入れ、煮立つた時に細かく切つた豚を入れます。暫くして馬鈴薯が壞れる位ゐの軟かさになりましたらば、匙で薯をよく潰して鹽と胡椒で味をつけるのです。材料の割合は、薯五つに中位の丸葱を二つ入れます。鹽豚は豚の脂身を鹽漬けにするのですが、豚の無い時には外の肉でもかまひません、ヘットでもバタでも脂肪の强いものならばよろしいのです。

□**小松菜の白和へ** 小松菜を茹でゝ細に刻み、醤油と鰹魚節を入れて攪き交ぜてざつと搾つて置きます。次に豆腐を布巾に包んで水を切り、擂鉢で一度擂つて白砂糖と鹽を入れてよく擂り交ぜ、鹽梅を見て前の菜を入れて和へるのですが、菜がすつかり白くなる位ゐ豆腐が混らないと美味しくありません。

□**ふろふき蕪** 蕪の中位ゐのものを擇び、皮を剝いて丸のまゝ茹でるのですが、水をたつぷりにして置いてよく心迄ふつくりと煮えるやうに致します。そして熱い間に次の様な味噌をつけて食します。即ち味噌をよく擂つて、砂糖と水でごろ〳〵になる位ゐに溶いて、それを煮立てゝ少し濃い目に煮つまればよろしうございます。

虞れがあるばかりか、汚垢は落ちるが營養は與へません、他の糠や、豆などの舊式な洗料になつては、汚垢を落す上に缺點があり、使用の上に不便があり、到底滿足な結果は見られるものではありません、其他人眞似小眞似の似而非洗料に至りましては、原料の不穿鑿や、調和の不整などから、洗粉としての効力が乏しくその作用が遲鈍な爲めに、洗粉としての用を爲さぬのが多いのであります、此の紛々たる類似似而非品の多い間にあつて、獨りクラブ洗粉のみは、石鹼よりも遙に優り、營養を增し皮膚を調へることは、牛乳や玉子よりも遙かに勝つて、化學的に汚垢を吸收包容し、殘りなく落すとゝもに、皮膚に營養を與へ、常に皮膚の機能を活潑にして、潤澤のある美しい皮膚にする効力の偉大なことは、洗身料たるのみならず、眞の美身料はクラブ洗粉であります。（廣告）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

暗調（五）

てい子

「成長をゆるすことの出來ない芽生えに對しては、言葉の記念も作りたくない。文字の形骸も殘したくはない。一切を獨りの心で解決すべきだ。默つて一人で惱むべきだ」と思つてゐた不二は、吉村に自分の愛の動ごきを傳へやうなどゝは、もとより考へてゐなかつた。

「此の人が私の心を血まみれな戰場のやうに亂した」と何氣ない談話の間にも悲しい心で彼に向つてゐることや、ある焦情を感じたりする事はあつても、外面の冷靜まで切り崩すような時はなかつた。彼に走しる想ひがどんなに高潮してゐる時でも彼が健全な幸ひな愛の對象者をうるやうにと云ふ可憐らしい祈りを不二は忘れなかつた。たとひ吉村が自分に結ばれた愛を先方から開く場合があつても、それは彼の幸福の爲めにも堅く拒まなければと、彼女は思つてゐたのであつた。がある時の抽象的な言葉から、二人は互のもつてゐるもの丶正體を首肯合つてしまつた。

S氏の宅で例の會合があつた歸へり途であつた。

「あなたにお會ひしてからもう二年近くになりますね」と吉村が言つた。

「早いものですわね、でもあつた事柄など一つ一つ思ひかへしますといゝかげん長がくも思はれますのね」と不二も平凡に和した。

「私はあなたと知己になつてから、特に近頃、著しい變化を自分の中に認めますよ」

「思想の上にですか」

「思想もだん／＼變つていきますね、無上の眞理だと信じてゐたものでも土塊のように捨てゝ惜しくなかつたり、つまらないと思つてゐたもの丶中から非常な價値を見出したり……、絶えず變つていきますね。然し私のいまいふ變化はそれとはちがひますよ。心の上に新しい異能を發見したとでも云ふのでせう。そして私の生命がそれに向つて躍動しはじめたとでも……」

「もつと平たく說明して下さらなければ……」

「そうですね、裏から逆に說明すればあなたにお會ひしたのを悔いてるとも云はれますね」と吉村は笑ひもせずに言つた。

「私も……、何故御目に懸つたでせうと一寸した『機會』をうらみに思ふことがありますの」ごゝしりと石にでも躓づいた時のような重い呼吸の下から不二は小さい聲で云つた。

「吾々は無意識の間に相手の生命を支配するやうな大きいなにかを與へてゐる事があるんですね、苦しめたり、喜ばせたり、怖しいことですね」

「貴方もそのお一人ね」不二は思はずそう云うてハッとした、が悔いた時はもうおそかつた。

「然しそれが二人の心を貫く感じであるなら幸福ですね、私は感謝しますよ」と吉村は靜かに言つた。

「とう／＼言葉の記念を作つてしまつた、與へられない、またうけ入れられない愛の前に私は何故沈默を守らなかつたか」と不二はその晩眠られない床の中で、責めと悔いとの入り亂れた思惑に苦しんだ。吉村の心を摑んだといふ歡びもあつたけれど彼に對する責任をより多く感じた。明瞭した解決を自身の心に與へると同時に、戀愛の成長に伴ふ生活はさけなければならない宿命を吉村に打ちあける必

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

要があると不二は思つた。でもそれは不二にとつて辛い辛い仕事であつた。むしろ自分ゟ戀も神秘な覆ひに美しく包んだまゝ吉村の眼から隱れたい、逃がれたいものだと彼女は考へた。東京を去りたいと云ふ願ひの根ざしはそこにあつた。

その次に二人が會つた時

「此頃は何をお讀みです」と不二は問ねた。これは話題が二人の心に觸れるのをさけたい爲めに用ゐた不二の技巧であつた。

「自分の心を讀んでゐますよ」と吉村はすぐに答へた。「あなたのお心も、もつとはつきり讀ませていたゞき度いんですが許るして下さいますか」外に向けたつもりの矢が反つて眞直に心の中核に射かへつてきたので不二は吃驚した。

「貴方に讀んでいたゞくようなページを私はもつてゐませんよ」と彼女は逃げた。

「然し此間の短いお言葉から私は、私の爲めに書いて下すつた文字を朧ろながら貴女の心に覗き見ましたよ、あなたも私の心から何かをうけ取つて下すつたと思ふ、たゞ外廓から覗く丈けでなしに内部を割いてありのまゝを互に見合ふじやありませんか」

「吉村さん、私あなたの爲めに書いた記錄はすつかり破いて捨てゝしまひましたの、いまはもう何も殘つてをりません、もしあなたが私の爲め何かをおもちなのでしたら、矢張り捨てゝおしまひなすつて頂戴」不二は烈げしい苦しみを拂ひのけながら云つた。「それは上面から人が塗り書してくれた受身の死文字ではない、自分の生命に刻んだ血の文字だ、どんなに拭つても洗つても消えはしないだらう、それを私は捨てたと云ふ、またほんとに捨てなければならないとも思つてゐる、これは自分に對する冒瀆ではなからうか、それならばどうするのが一番……」と不二の頭は思慮に惱亂した。

「何故ですか」と吉村はしばらくの沈默の後で問ねた。

「今お答へしなければいけませんか」

「私はなにも强ひることは出來ません」。

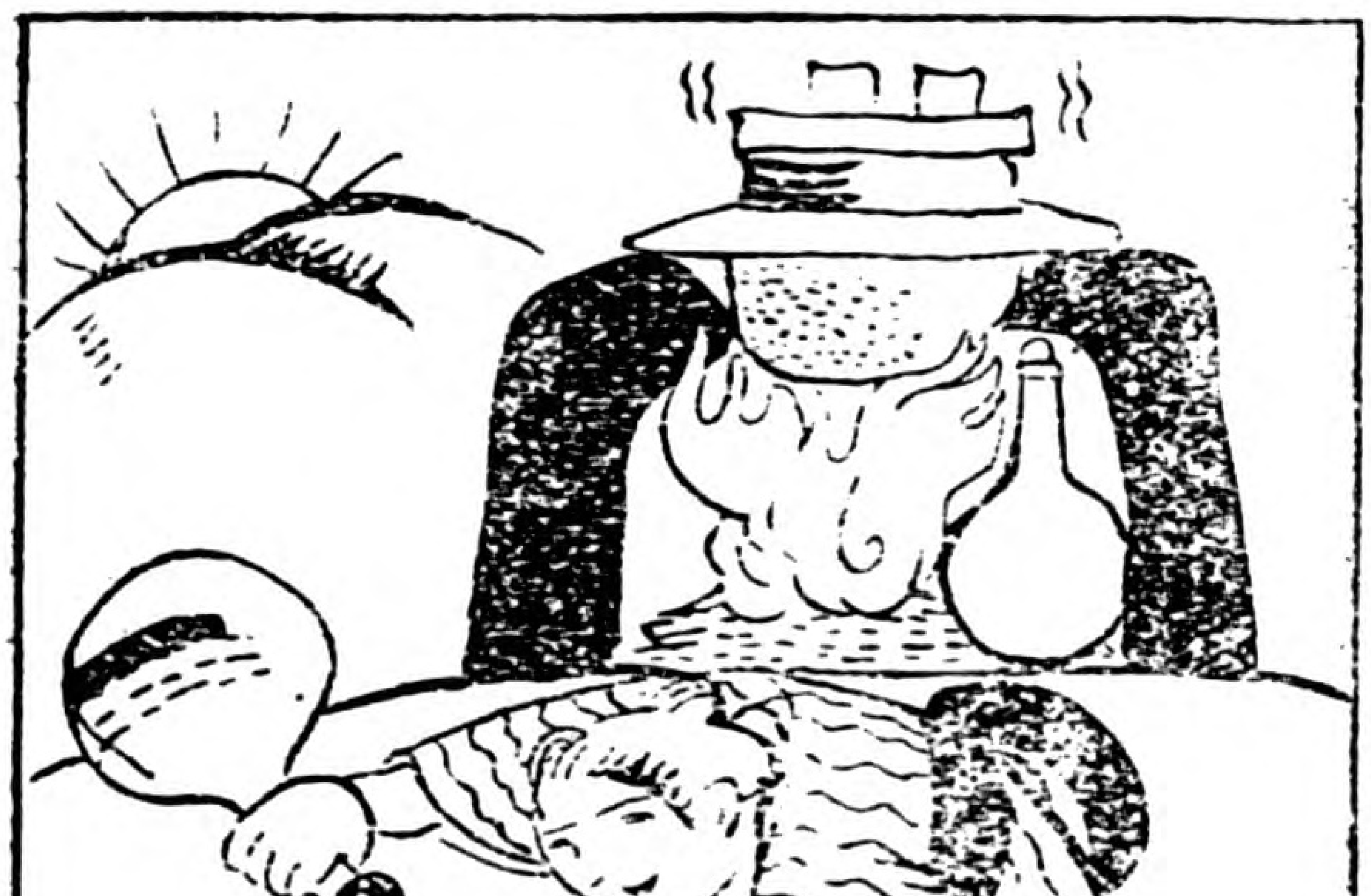
「ありがたう、生涯御返答はゆるしていたゞくかも知れませんでも……」と不二は言葉を切つて涙をのんだ。「私がどんなに穩くしても自然は公衆の前にその理由を發表せしめるかも知れない」彼女の胸には狂者の姿が慘酷に映つてきた。

倹約物語（三）

一擧兩德

近藤浩

これは京都のさる舊家で實行された有名な儉約法であります。何でも其家の女主人さいふのが大さう細心な方で、御飯を焚く序でに、水を一杯容れた一升德利を二三本、其竈の中の藁火の側に立てゝおき、御飯が焚けるさ同時に德利の水が熱湯にかわるのを見すまし、其湯で顏を洗つたり、御化粧したりするさうです。



Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貞女物語

顏世御前（上）

忠臣藏と共に謳はるゝ

廣田花崖

□譬へ難き美女

太平記一卷を通讀したのは最う久しい以前のことであるが、今でも頭に殘つてる女が二人ある。一は勾當内侍にして他は顏世御前である。さうして其最後の慘烈であつたのと更に其名が演劇忠臣藏に出て來るのとで最も多くの興味が後者即ち顏世御前に繋がれて居る。

顏世御前は鹽谷判官高貞の妻であつた。即ち足利時代初期の人物である。それが元祿の出來事を仕組んだ忠臣藏に出て來るのは、只德川幕府では當時の實際を寫した演劇等に對する監督が嚴重であつたから、便宜上あの赤穗義士仇討事件を足利時代に結付け、更に事實にあつた師直と顏世御前の戀愛事件を假りて劇的興味を豐富にしたのである。

高武藏守師直が身命を打込んだ顏世御前は實際それ程の美人であつたろうか。一說に依れば顏世は「顏好」であつて御前が頗る付の別嬪であつたから斯う云ふ異名があるのだと云ふ。之は相應に信用のおける說である。

それに御前は後醍醐帝の御外戚早田宮の御女であつて高貴の出であつた。嘗て殿上人が寄合つて禁裡仙洞の美夫人侍女更衣達を花に譬へて興じたことがあつたが、顏世御前ばかりは譬ふべき花もなく、柳の枝に櫻花を咲かせ梅が香を添へたらば斯くもあろうかと、遂に花の譬喩にも洩れ給ふたと云ふやうなこともある。兎に角之等を綜合して彼女が世に稀有なる美人であつたことは察するに難くない。

□あやめも知らぬ戀

顏世御前に對する師直の戀は最初見ぬ戀であつた。同時に道ならぬ戀であつた。報はれざる戀であつた。種々の意味であやめも知らぬ戀であつた。

時は延元四年の夏であつたらしい。尊氏が天下を取つて四年目、師直は其執事として飛ぶ鳥も落さんず勢であつた。折柄師直微恙あつて引籠中ある夜のこと眞都と一覺檢校とが平家を謡つた。近衞院の御時源三位賴政が紫宸殿上に鵺を射て主上の御惱を癒し奉つた勸賞として嘗てより彼が見ぬ戀に憧憬れたる藤壺の菖蒲の前を賜はるべき御諚にて、後宮三千の美女の中より特に羞月閉花の逸物十二人を選み其中に菖蒲の前を立交らせ、同一裝束で淸涼殿に並べ、此中より菖蒲の前を引き出せとある。

賴政には見分けがつかなかつたそこで詠んだのが有名な「五月雨に澤邊の眞菰水越えて、いづれあやめと引きぞわづらふ」と云ふ歌である。

師直は感に入つて、菖蒲ほどの別嬪なら所領二三十個所に換へても惜しくないと云つた。其處へ笑ひながら這入つて來たのが侍從と云ふ女房である。菖蒲は然したる美人ぢやないと彼女は云つた。果して稀世の美人なら賴政が引煩らふ筈がないとも云つた。それにさへ所領二三十個所をも惜しませられぬ御心には、後醍醐帝の御外戚早田宮の御女顏世の前など御覽せられなば日本、唐、天竺に替へても足りませぬぞとも云つた。

師直の心は甚くも動いた。樣々の引出物などして顏世の前の媒介を侍從に賴むのであつた。執念深い戀愛事件は斯うして不圖したことから起つたのである。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口豐明殿賜宴　廿七日正午より宮中豐明殿に於て立太子禮御饗宴を開かれ、此の日天皇、皇后兩陛下には、各皇族を從へさせられ、御開宴に先き立ち、牡丹間に出御、勅任待遇以上に拜謁を賜ひ、後豐明殿に出御文武高官約一千二百名に對し御陪宴を仰せ付けられました。

口歌御會始諸役　大正六年一月十八日行はせらるべき新年歌御會始め來行は既に西三條德川兩御歌所參候に仰付られたるが、二十八日左の如く讀師、講師、發聲、講頌夫々仰付られたる旨發表ありました。

讀師	正二位公爵	一條實輝
同	正二位侯爵	鍋島直大
講師	從四位伯爵	冷泉爲系
發聲	正三位子爵	持明院基哲
講頌	從二位伯爵	大原重朝
同	正ル位子爵	石井行昌
同	從三位子爵	西五辻文仲
同	從三位男爵	金子有卿

●墺國皇帝崩殂　皇帝フランツヨセフ陛下には去る廿一日夜シエーンブルン離宮に於て崩せられました。陛下は本年既に八十六歳の高齢に達せられ、列強帝王中の最年長者を以つて聞えて居ります。其の叔父フエルヂナンド一世の退位後ゟ毅いで墺太利皇帝となり、一千八百四十八年父王の後を承けて何牙利の王位に就き、以後今日に至る迄で内外の治政につとめ、其の間皇室には、種々の奇難簇發し、老帝は常に一人淋しき日を送られて居られたのです。

●墺洪新帝稱號　同國新皇帝はカール一世と稱する事となりました。尚は同帝は詔勅を發して最後の勝利を得る迄戰爭を繼續すべく、速かに名譽ある平和の克復を希望する旨を國民に告げられました。

●露國首相更迭　首相スチユールメル氏は辭職して侍從長に任せられ、交通大臣トレポフ氏が後任首相となりました。

●獨逸の國民兵總召集案　獨逸の人民を、强制的に、戰時勤務に服せしむるの法案は、十七歳から六十歳に至る凡ての男子に適用せらるべきものであつて、此れを忌避するものは極刑は禁錮一ケ年罰金五千圓に處せらるべきものなりと申します。尚ほ同國帝國會議は十一月二十五日急遽召集せられました。

●機關銃の發明者逝く　現今の歐洲戰亂に各國で使用して居る機關銃の發明者サー、ヒラム、マキシム氏は去る廿四日逝去いたしました。氏は一八四〇年に米國メートン州サンガービールに生れ、幼にして馬車製造人の徒弟となり、後紐育市の某鐵工造船所に就職中、瓦斯街飾に關する四五の發明をなし、次で今日偏く使用さるゝ電球カーボン、ヒラメンク及び無炸火藥等氏の發明になるものは少なくはありません。日露の戰役の旅順要塞戰で我軍が非常に惱まされたのも氏の發明になつたマキシム機關銃であつたと申します。

●二大家の計　▲英國の社會學者チャールス、ブース卿は社會改良家として長く其の名を知られて居りますが、此の程逝されました「享年七十六」。氏は正則の大學教育を受けず、大工場を經營して、實際に社會を研究した一人です。二十年前の「倫敦の勞働及び生活」と云ふ十八冊の大著述から遍く知られるやうになつたのです。▲米國の小說家　前號の誌上に於て、來春我國に來遊の旨を報じた、ジャック、ロンドン氏は突然毒藥を服して自殺せりと傳へられます。原因は判明いたしませんが惜むべき事であります。同氏の作品中「アダム以前」は最近我國に誤譯されました。

●來朝する女流飛行家　米國第一流の女流飛行家、カザリン、スチンソン嬢は十二月十二日入港の日本丸で渡來する筈であります。嬢は十九歳の妙齢とは云へ、其の技術に於ては常に男子を陵駕して、近くは本年五月米國の陸軍飛行大會にて第一等の譽を取つて居ります。高度の記錄は四千五百呎であると申します。嬢は東京を中心として一ケ月間日本各地に妙技を振ひ、來年二月麻尼拉に上海、布哇を經て歸國する豫定です。

●爆彈事件の控訴判決　大隈侯を狙擊せんとして果さゞりし爆彈事件控訴判決は二十一日左の如く言渡されました。

懲役十五年　福田和五郎、下村馬太郎
懲役十二年　鬼倉重次郎、和田政吉
無罪　田中弘之、肥田琢司

●帝國人口動態　內閣統計局の調査に係る（大正元年末現在）に本籍を有する者の、大正二年中の婚姻、離婚、生產、死產、死亡の梗概は左の如くであります

婚姻總數は四十三萬二千七百八十二、之を前年に比して七百九十を增し、離婚は總數五萬九千八百三十、前年より四百十二の增加を見、生產は百七十七萬八千百六人、中女兒八十六萬九千六百八十九人、男兒九十萬八千四百十七人、前年より生產多きこと二萬千五百五十三人、死產十四萬七千七百六十九人、前年の比例より、○、○四低く、死亡は、男子五十二萬七千九百九十五人、女子五十一萬七百二十三人、性不詳五人、前年に比して男子、二千四百六十四人、女子七千百九十四人を減じ性不詳三人を增して居ります。

●本年から改正の諸府稅　近く、改正さるる府稅が三四あります。其の中自動車は十五圓以上八十圓迄中荷物專用車は其の半額でありましたが、自家用と營業用の別がありませんでしたのを、營業用のものには、運輸專用自動車と云ふ名稱を附けて、改良稅金の三分の一を徵集する事になりました。其の他今迄揚所に等級を附した舊苦はこれを

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全廢して平均百坪につき金三十錢を徵集し、興業稅は從來より多少値上となるべく、乘馬稅は馬匹改良の奬勵上これを全廢する事になりました。

●**石川縣の選擧再選**　長らく選擧界の問題となりて居た、石川縣衆議院議員選擧の不正事件は二十七日大審院に於て、愈無効の判決を受けましたので、同縣よりの選出代議士六人は、其の資格を失ひました爲め、全部再選を行ふ事となりました。近く激烈なる運動が演せられる事と思ります。

●**飛行將校の渡歐**　所澤陸軍航空隊附長尾少尉は、歐洲戰場に於ける飛行機の活動に關する調査の任命を帶び、梅戸少佐外十餘名の將校と共に渡歐期間六ヶ月の豫定で、二十六日に出發致しました。一行は西比利亞經由にて英國に出で、更に佛國に入つて、出來る限り獨佛戰線に赴き、仔細に視察するとの事です。

●**中旬ノ出超**　十一月中旬の貿易概算は輸出三千三百八十四萬圓、輸入千五百九十七萬四千圓、差引出超千七百八十六萬六千圓を示しました。

●**大倉男の美術館公開**　二十六以來授爵祝賀會を帝國劇場に催して居る同男は、今度其の所有の美術館を社會に提供する事を發表いたしました。同家には朝鮮の宮殿の一部、五代將軍家が柳澤家に與へた時の繪ノ棚、太閤の朝鮮征伐當時の分捕品等を初めとして、珍品が澤山に蒐められて居ります。尚ほ同館は、總坪五千坪、建坪一千坪で、維持費として五十萬圓を添へられ、近く財團法人となる筈です。

●**婦人問題研究會**　第九回例會を廿五日午後ヵ時より麴町八重洲ノ中央亭に開き、法學博士吉野作造氏の「英國婦人參政權問題とサンディカリズム」の講演がありました。

●**物價騰貴**　米や生絲が高くなつたと共に軍需品や米國輸出等で大分景氣付けられては居りますが、是に伴つて日常品の騰貴著しく、醬油は一樽について三十錢乃至五十錢騰り、炭は約十五錢高で紀州の壜長等は五貫目表が二圓以上と云ふ高價となり薪は二割高を示して居ります。鑵詰類は二割高で、騰らないのは鹽ばかりです。

●**關西の强震**　二十六日午後三時過ぎに大阪、京都、德島地方に近來珍らしき强震がありました。尚ほ同地方は二十七日にも一二回の强震があつた由です。

●**動物園の新客**　內田嘉吉氏が南米諸國漫遊中露國政府へ寄贈方を依賴して置いた、亞米利加駱駝は此の程到着して動物園に寄贈されました。これは「ヤマ」又は「ラマ」と呼んで、肩の高さ約三尺胴の長さ約二尺八寸の動物で、頸は駱駝に似、身體は羊の如きもので、顏と耳は眞黑で、身體は少し赤味を帶びて居ると申します。

個人消息

△**德川綏子**　貴族院議長德川家達公二女綏子姫（廿）は侍從職司鷹司熙通公嗣子信輔氏（廿八）と廿六日婚儀の盛典を擧げらる。

△**江川久子**　伊豆韮山の名族江川太郎左衞門氏息江川英武氏三女久子孃（廿一）は工學博士辰野金吾氏長男法學士隆氏（廿九）と廿一日婚儀の典を擧げらる。

△**林美代子**　故陸軍中將林太一郎氏長女美代子（廿）は二十四日文學博士森林太郎氏長男醫學士於菟氏（廿八）と華燭の典を擧ぐ。新郎は目下理科大學に在學中、新婦は北海道旭川高等女學校の出身なさうです。

△**日野西薰子**　（子爵令孃）前の侍從日野西資博氏の令妹にして前の掌典侍山茶花の局として令聞高かりし從六位日野西薰子（三十八）は今回村井吉兵衞氏と婚約成りたりと。婚儀は一月先夫人の一周忌を濟まして行はるゝ筈。

△**安藤茂久子**　（橫濱市長夫人）二十六日東京府下大崎町の本邸より歸濱せんとする時、俥より墜ちて後頭部に負傷し、目下治療中の由です。

編輯室より

▲先日讀者の方で、市ヶ谷で電車を降り鳩を目的てにさて、お訪れ下すつた方がありました。折柄鳩は遠く遊びに參つて居つた眞晝時でしたから、お尋ね難かつたでせうと思ひました。本社は「新見付」で降りますと、一町とない處でございますから、覺え置き下さいまし。▲ふと見渡すと屋根と屋根との間に、風情面白い一本の紅葉が、眞紅に輝いて居るのを見出しました。ミケランゼロは、「一本の野菊と水のせゝらぎとあれば、美術はもう充分である」と申されたさうですが紅葉の一葉があれば、秋の名殘の風物に遺憾はないと思はれました。▲編輯室にはアメリカインデイアンの手織の毛布が敷かれました。赤、萠黃、黑といふ鮮やかな色に匂つて、見るからに暖かさうです。洋畫家の有馬さとゑさんが、此の室を訪れられて、挨拶もせずに、この毛布ばかりを讃めて居られたのも、もう去年の冬の事となりました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査・裁判上の證據調査等の御依賴に應じ親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表	
△壹部	金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）	金二十錢
△三ヶ月（十三部）	金六拾錢
△半年（廿六部）	金壹圓拾錢
△一年	金貳圓廿錢

廣告料	
△特等（表紙の二、三、四）	金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）	金廿五圓
△貳等（色紙の表側）	金廿貳圓
△參等（色紙の內側）	金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　福音印刷合資會社東京支店
發行所　婦人週報社　振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高木鐸子考案

鳩印安全下着

此下着は男女の別なく和洋服の下に用ひて着心地よく從來のものと異り横でボタンを嵌め外すやうになつて居りますから衣裳を崩す患ひなく且つ暖かく至極衛生に必要な品であります

大人用　大　五十錢　小　四十五錢

子供用　カンピネーション　大六十錢　中五十五錢　小四十錢

型紙何れも五十錢

ピーナットバター

一罐　四十錢

ピーナットバターは蛋白質脂肪等を澤山含んで居りますから極めて滋養に富み便秘脚氣衰弱貧血冷え性肺病糖尿病等に特効がありまた日常嗜好用として料理に用ふれば何でも味をよくします其の他バタの代りにパンにつけるにもようございます

婦人週報社代理部取次

振替東京三一六六〇

肝油服用者之福音

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飮めるは此肝油球である

三百粒入　壹圓
百粒入　七十錢
五十粒入　四十錢
送料各八錢

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

發賣元　東京市赤坂區田町五ノ一
工場　東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師　富谷宗吉藥局
電話芝六一八〇番
振替東京七〇八一番

體力精力增進に今が肝油服用時期

最善なる音譜は最も廉價なり

◉全國第一等の音譜製造會社の肉聲原盤を一枚に精良盤を加へ全部十枚にて

金三圓也

◉これほど安く賣る店は他にありますか？うそか誠か、御註文を願ひます。大勉強を以て御要求に應じます。御註文は一組は、オロカ御指定の曲目一枚でも早速御届け致します。

日本蓄音器商會
帝國蓄音器商會
東京音譜製造株式會社
東京蓄音器株式會社

小石川區原町三番地
（白山電車停留所前）

【特約店】

三美堂蓄音器店

電話番町四四六一番

發賣元

改良經濟紙四十枚分一帖金三錢他店にて買ふ事の出來ない半紙代用紙があります一度御試用を是非御勸め致します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、蜂間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも新調同様になります
殆んど
和洋服
外套インバネス・コート
ネル・セル・ショール
牛襟毛皮等のクリーニング
と染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留塲際
電話新橋　三一〇八

古本高價に買受ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴巻町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

産科、婦人科、小兒科
女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

耳鼻咽喉科專門
東京京橋區南鍛冶町廿七
大野耳鼻咽喉科醫院
院長　大野喜伊次
（入院隨時）
電話京橋一〇三五

内職を奬勵する

大日本婦人手藝會

本會は一般家庭の内職を奬勵する爲に、編物、刺繍、綿細工、造花、袋物、摘細工等日本婦人に適當な手藝を無料でお敎へして、何等の素養の無い方でも、數日の中に賃銀を得られるやうにおさせ申したいのです。製作品は本會で永久に引受けて輸出品とし、一方我が國の富力の幾分をも助け、皇恩に報い奉りたいといふ望みです。婦人週報第四十三號掲載の山脇博士のお説に御同感の方々には最も適當な會と存じます。もし本會の趣意に御贊成の會員が數人一と所にあれば出張敎授も無料で致します。
詳細は郵券二錢封入お申込み下されば規則書をお送りします。

東京麹町區富士見町五ノ二
（靖國神社横）
大日本婦人手藝會

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町　二三五七

料理講習會

會席料
毎週土曜日午前中
會費一回卅五錢
束修五十錢

西洋料理
毎週月、金午前中
會費一回五十錢
束修五十錢
（主婦として主婦の爲）

外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢

本郷區彌生町三番地
櫻井女塾
電話下谷六八一五番

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

第八巻　# 新女界　十二號

十二月號

定價　一部十二錢　半年七十二錢　一年一圓四十錢

□東西最近の形勢……吉野作造
□女學生の倫理宗教觀……横山雅男
□兒童の養護……三田谷啓
□聲の話……千田時次郎
□婦人の服裝について……志立たき子
□修養の根本義……海老名彈正
□蜜柑賣（小說）……廣田花崖
□不思議な生命……岡崎小文
□安價にて優良な食物……岩井縣
□手輕で調法な染色法……一記者
□婦人の使命……鵜崎庚午郎

（見本申込次第進呈）

東京小石川林町四三　新人社　振替東京一四〇〇五

（入社御望の方は婦人週報社にて御取次も致します）

安心して買物が出來る（東京市及び市附近郡部に限る）

我購買組合共榮社は米を始め凡ての食料品幷に多數の日用品を品質精選の上多量纏めて割安に仕入れるので之を普通の店より安價に本組合員に分配致します營利に傾ぬかのが本社の特色とする處で尚多少の利益を剩す場合には其剩餘金は組合員の購買高に應じて割戻の方法であります。御用聞も配達も隔日に参上致させます。

本組合現在員數一千七百餘名（御望みの方には組合員名簿一部進呈）主に中流以上の御家庭で有ります◎婦人週報愛讀者にして入社御望みの方には本社最近の成績報告書、組合員名簿、最近物價表等特に進呈致しますからハガキなり御電話なりで御申越下さい尚御不審の點は社員をして御說明申し上げます◎責任を明かにする爲め左に本社役員（皆名譽職）の名を列記して置きます。

◉役員

理事長　加納與四郎　理事　伊澤良立
理事　高津次盛　理事　船尾榮太郎
理事　岡本利兵衛　理事　足立莊
理事　菊地綾五郎　監事　倉知誠夫

◉評議員

井上敏夫　村井貞之助　岩本進太郎　原田虎太郎
波多野承五郎　堀井卯之助　太田黒重五郎　和田豊治
子爵　加納久宜　鎌田榮吉　門野重九郎　加藤木重教
門野幾之進　津田興二　子爵　長松篤棐　戸田直三
久米良作　松尾清次郎　青木大三郎　坂田實
菊地武德　北川禮弼　由井彦太郎　日比翁助
平尾信壽　鈴木梅四郎　竹村良貞　村上定
武知直道

有限責任購買組合　共榮社
東京京橋區新富町一丁目八番地　電話京橋（一七〇番・二〇五番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA